

# 横浜市インフルエンザ流行情報 11号

横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

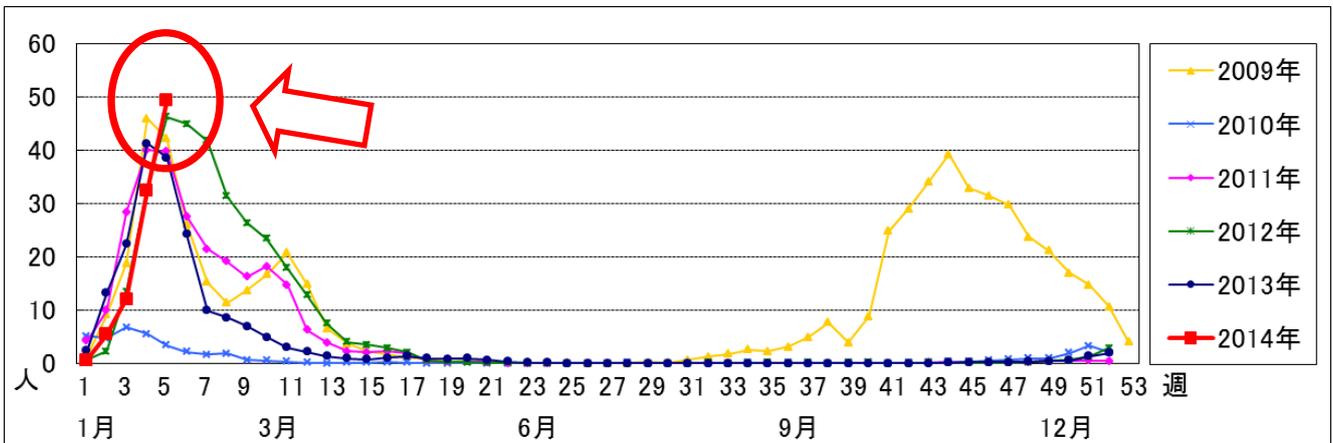
## 《トピックス》

- **流行の極期**を迎えています。
- 過去5シーズンと比べて**最多の報告数（週別）**です。
- 迅速キットの集計で、**B型がA型を上回りました**。
- インフルエンザの**入院患者数が増加**しています。
- 感染予防や早期受診などの対策<sup>※1</sup>が重要です。

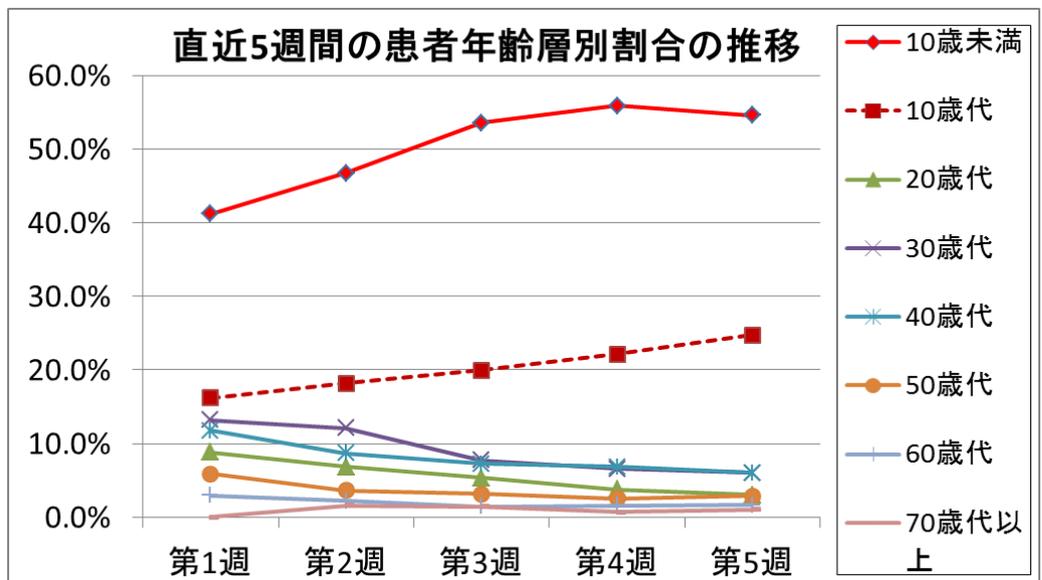
※1 [インフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

**1 市内流行状況:**市全体の定点<sup>※2</sup>あたりの患者報告数は、第5週(1月27日～2月2日)**49.37**と、過去の5シーズンと比べて**週別の定点あたりの報告数が最多**となりました。流行の極期を迎えています。区別で最も報告数が多いのは**都筑区 84.17**で、次に**緑区 79.86**、**神奈川区 68.50**となっています。

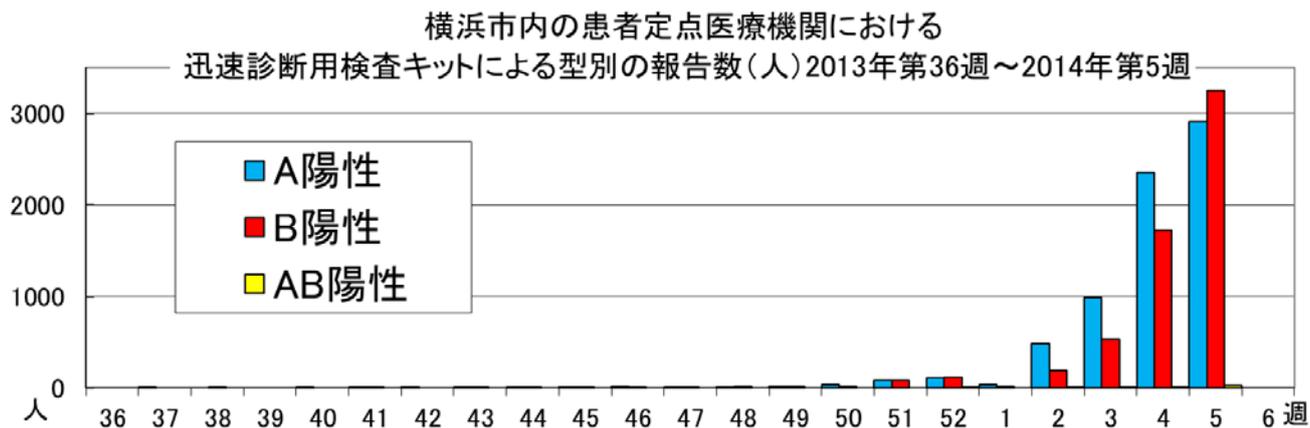
※2 定点・・定点とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内152か所)のことで、そこから報告された患者数の平均値が定点あたりの患者報告数です。



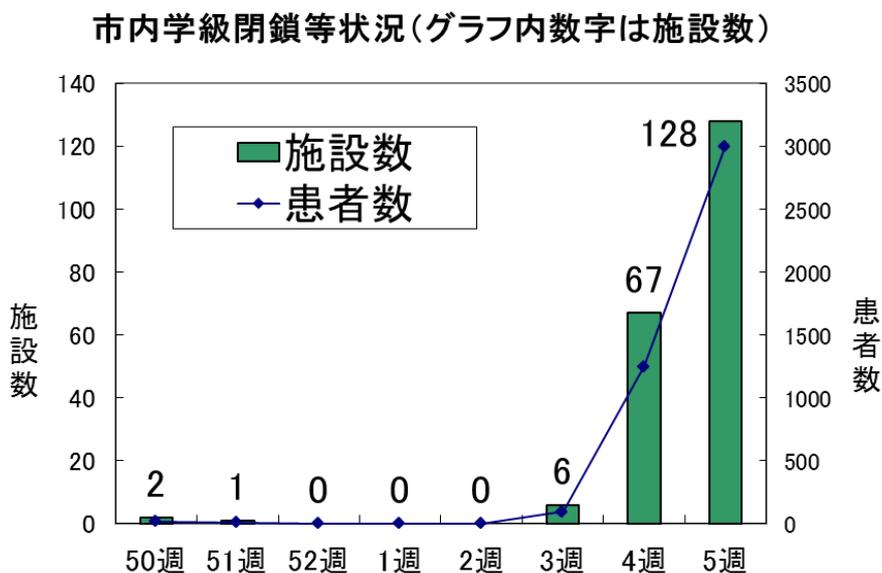
**2 年齢層別集計:**  
直近5週間の患者年齢層別割合の推移では、第1週以降、10歳未満と10歳代の割合が増加し、第4週以降、10歳未満と10歳代で全体の8割程を占めています。



3 迅速キット結果:第2週以降A型がB型を上回っていましたが、第5週ではA型47.0%、B型52.6%、A型B型ともに陽性0.4%と、**B型がA型を上回りました。**

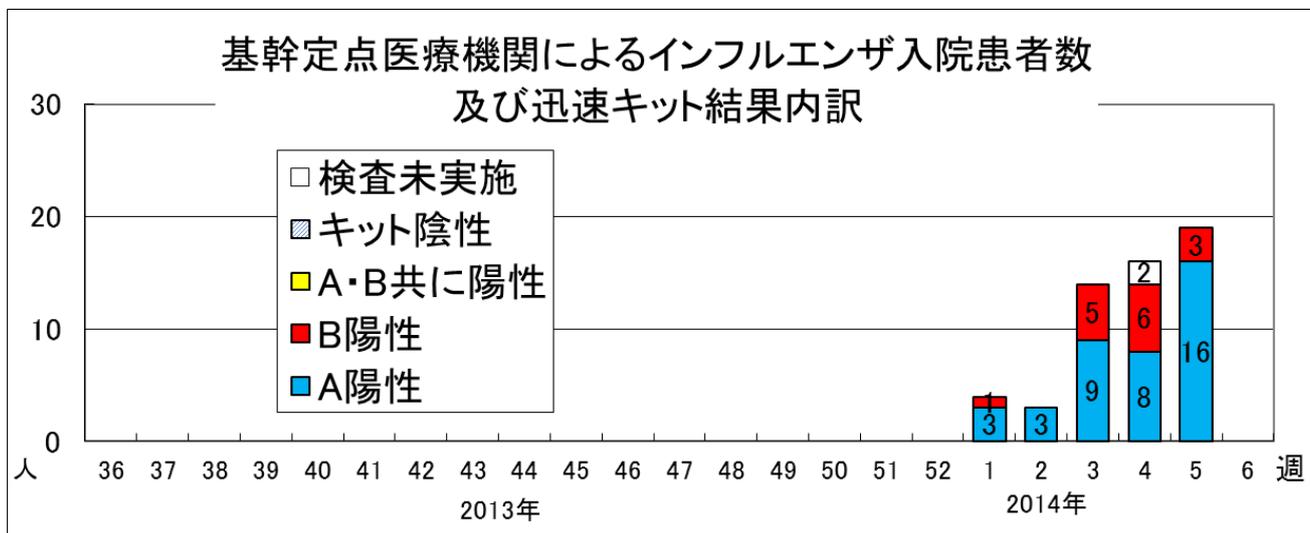


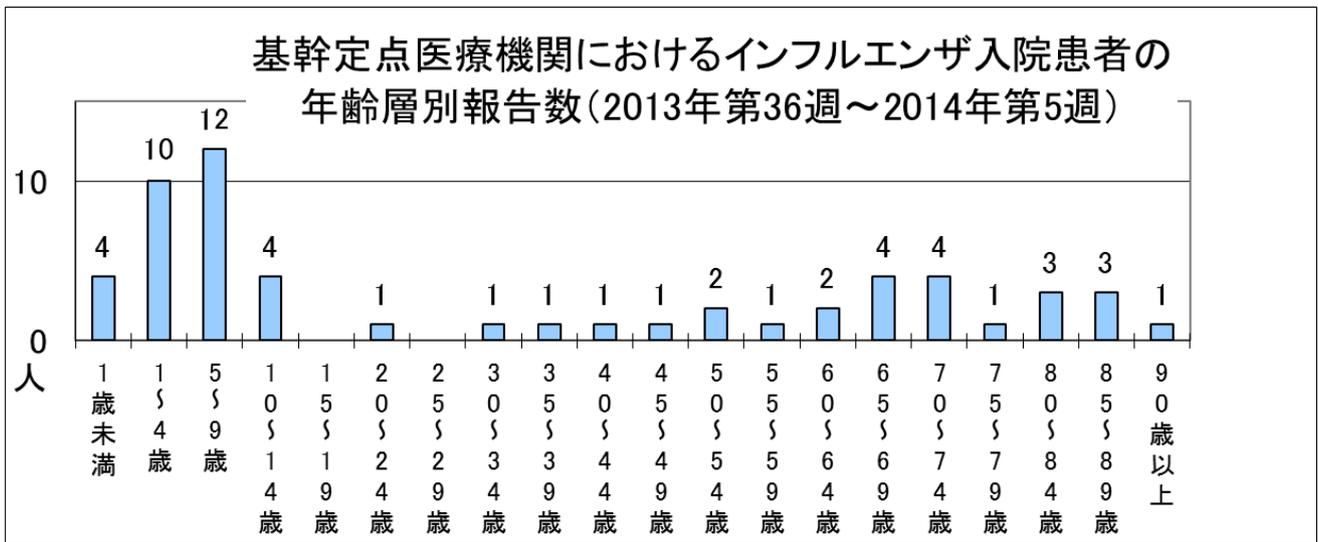
4 市内学級閉鎖等状況:  
閉鎖施設数は第4週の67件から、第5週は128件と**ほぼ倍増**しました。患者数も**3000人に達しました**。第5週の施設種別では、小学校98件、中学校16件、幼稚園10件、高校3件、その他1件でした。



5 入院サーベイランス:基幹定点医療機関<sup>※3</sup>における、**インフルエンザの入院患者数は徐々に増加**しています。迅速キットの内訳ではA型の方が多くなっています。年齢層別(累計)では、**10歳未満で全体の5割弱を占めています。**

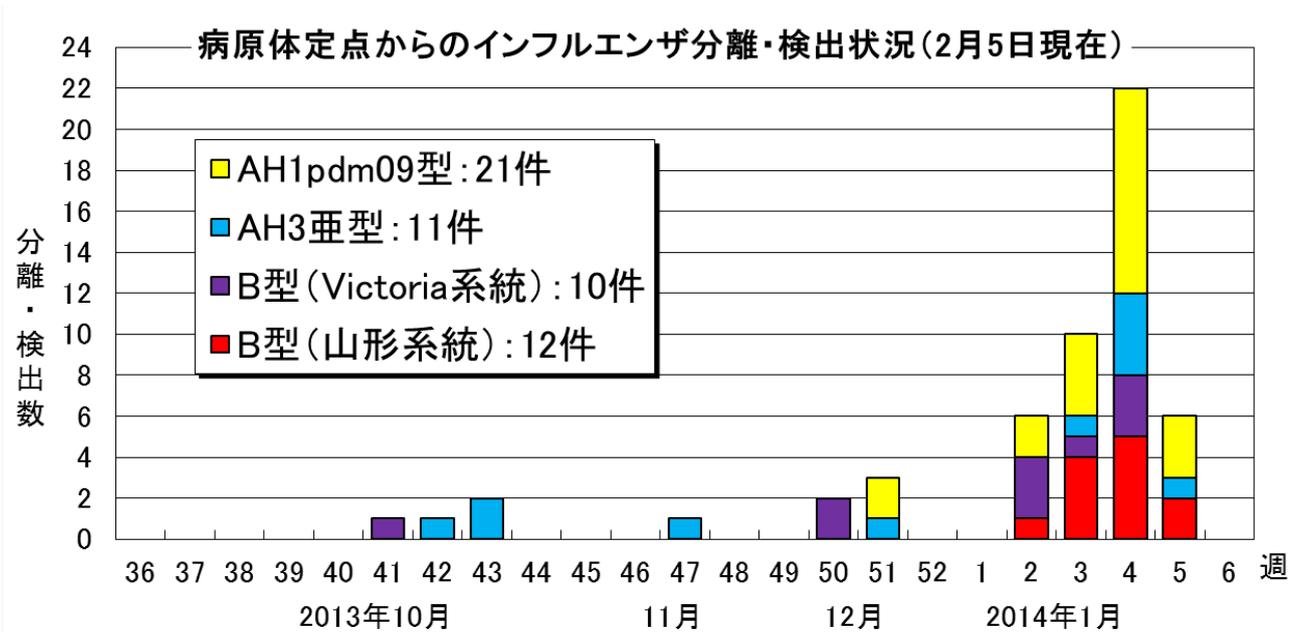
※3 基幹定点:患者を300人以上収容する病院(小児科医療と内科医療を提供しているもの)の中から、地域ごとに指定された医療機関のことで、市内には4つの基幹定点があります。





**6 インフルエンザ脳症:**第 4 週に幼児の報告(AH1pdm09 型)が 1 件ありました。本症例は発症後早期に意識障害を認めており、罹患後の容態変化に注意が必要です。

**7 市内病原体検出状況:**市内では病原体定点から今シーズン計 54 件インフルエンザウイルスが分離・検出されていますが、多い順に AH1pdm09 型が 21 件(38.9%)、B 型(山形系統)12 件(22.2%)、AH3 亜型 11 件(20.4%)、B 型(Victoria 系統)10 件(18.5%)となっています。年明けから AH1pdm09 型が多く検出されているのは全国と同様の傾向です。AH1pdm09 型はかつて世界的に流行した際、妊婦の重症化が問題になっており注意が必要です。なお、今シーズンのワクチンには B 型(Victoria 系統)は含まれておりません。

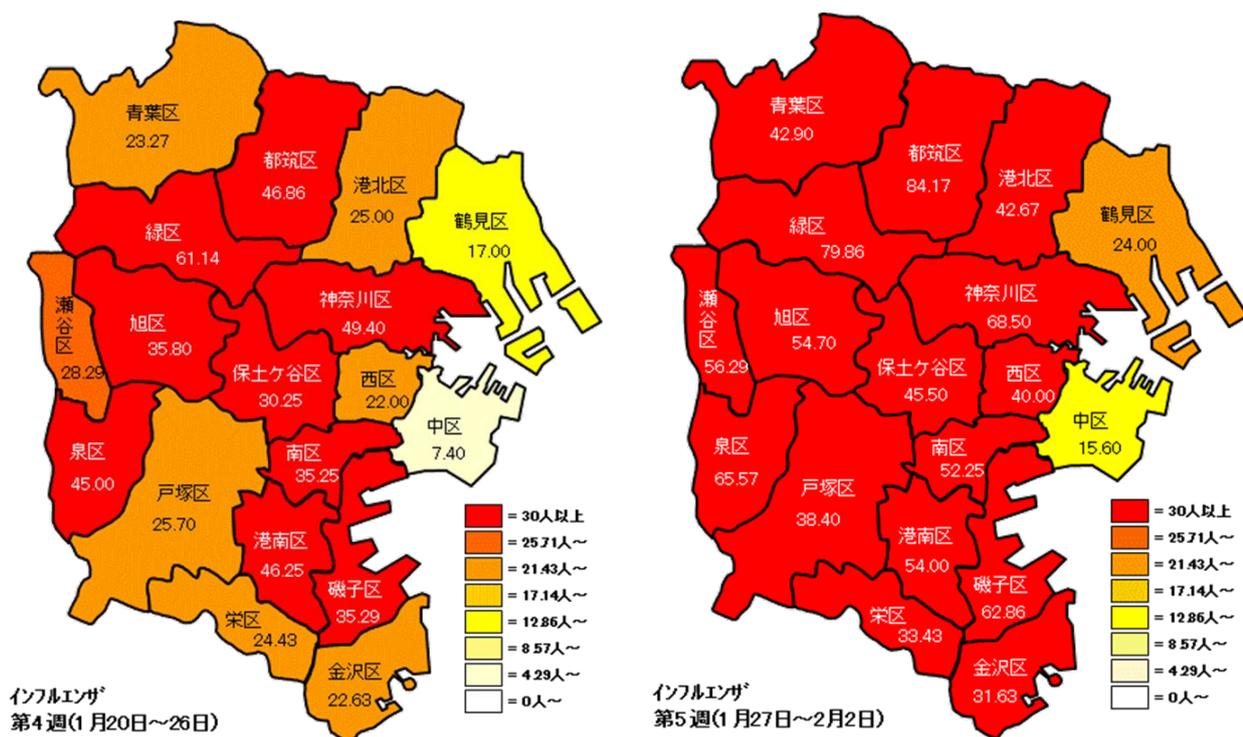


**8 分離株の抗原性解析と耐性検査:**市内で検出されたインフルエンザウイルスの、ワクチン株との抗原性解析(HI 試験)では、AH3 亜型 6 株、AH1pdm09 型 4 株を国立感染症研究所で検査したところ、すべて 2 管差以内です。一般的に 2 管差(HI 価 4 倍)以内でワクチン株と類似していると言われています。(注:抗原性解析は、実験室的にウイルス株とワクチン株の類似性を確認しているだけで、臨床的なワクチンの効果は疫学的に検証する必要があります。)薬剤感受性試験では、AH3 亜型 4 株、AH1pdm09 型 5 株を国立感染症研究所で検査したところ、すべて主な薬剤(オセルタミビル、ペラミビル、ザナミビル、ラニナミビル)への感受性低下は認められていません。

衛生研究所で AH1pdm09 型の 37 株を検査したところ、耐性ミックス株(275H/Y)(注:薬剤治療中または治療後の患者の検体からは、薬剤により耐性が誘導された株と通常の株がミックスされたもの(耐性ミックス株)が検出されることがあります。通常はそのウイルスが地域で流行することはありません。最近話題になっている耐性株とは異なります。)が 2 株見つっていますが、耐性株(275Y)は見つかっていません。

◇ 臨時情報 10 号で報告した分から新たな検査結果の報告が国立感染症研究所から届かなかったため、今回は検査結果表の掲載は割愛します。

## 9 区別流行マップ



【お問い合わせ先】横浜市健康福祉局健康安全課 TEL 045(671)2463  
横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課 TEL 045(754)9815